

地域移行支援の進め方

さんの退院に向けた準備

退院後はどんな生活をしたいですか？



心配なことはありますか？

- わたしは
- 区市町村に退院したいです。
- わたしは
- がしたいです。
- わたしは
- に行きたいです。
- わたしは
- です。



- 心配なことは
- 住まい
- 食 事
- 掃 除
- お 金
- 日中の過ごし方
- 趣 味
- その他

さんが地域で暮らすための準備

病院では



をやってみましょう。

相談支援事業所の です。



をやってみましょう。

さんの地域の応援隊



通院先は



訪問看護ステーションは



相談支援事業所は



ヘルパーは



日中活動は



区市町村の担当

退院に向けての準備

地域で暮らす準備

地域で暮らし続ける体制

病
院

本人・家族
病院スタッフ

「地域移行支援」申請



地
域

自治体
相談支援事業所等
地域支援者



退院に向けて
話し合しましょう

メンバー
本人・家族
病院スタッフ
地域支援者

退院までの計画作成

院内で行うこと

- 薬の管理
- お金の管理
- 外出・買い物練習
- クライシスプランの検討など

情報共有

地域支援者と行うこと

- 暮らす場所の見学
- 体験宿泊の調整
- 日中活動場所
- 体験後の振り返りなど



退院後の生活に向けて
話し合しましょう

メンバー
本人・家族
病院スタッフ
地域支援者

退院後の生活に関する
計画作成

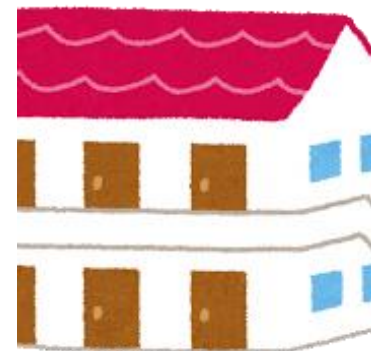
退院後のネットワークの例



講師作成資料

* 現場にいた頃に、退院を希望したものの、一人暮らしの経験がない方への支援。
病院の職員と一緒にグループホームを見学したが、イメージと違っていたと落ち込んでしまった という方に、まだまだいろんなグループホームがあることを本人に伝えて欲しいという依頼で訪問するようになり、その方のために作ってみたスライドです。

〇〇〇さんが退院して 弟さんたちと同じような生活をするために♪



【現状】



気がいたら△△病院に
もう入院して19年目...



でも、本当は退院したい。
できれば弟さんたちと同じような
生活がしたい。
アパートでひとり暮らしして、
好きなお寿司食べたりしたい♪

その為の練習する場があると
☆☆さんと一緒に〇〇市のグループホーム
見に行ったけど、食事をみんなで摂るところ
ではなく、全部自分で用意となると…
家のことは無理だと思ってしまった…(>_<)



【そこで…】

住みたい場所を決めるために、
△△区のグループホーム
(アパートタイプ)を見に行きます♪

住みたい場所が決まったら、
〇〇〇〇さんの退院を手伝ってくれる
人たちを紹介します♪

体験のお泊りをする時に付き添って
くれたり、退院後生活で〇〇〇〇さん
にとって必要なお手伝いの内容を
一緒に考えてくれたり、
家具を一緒に準備してくれたりします♪

そして…

「わたし退院しました♪
弟たちと同じようなアパートで
生活し始めています。
いろんな人に手伝ってもらったり、
助けてもらいながら、ときどき好きな
お寿司食べたりして楽しんでいます♪」

ということになったら嬉しいです(^^)♪

気がいたら△△病院に
もう入院して19年目…

と、いうわけで…

△△区のアパートを一緒に見に行ってみませんか?(^o^)/

地域移行支援で大事にしていたポイント

講師作成資料

【お気持ちについて】

- ご本人はどんな暮らしを希望しているか
- ご本人の夢や希望は？
- ご本人が不安に思っていることは？

【支援について】

- 住むところはどこがいいか？
- 生活費はどうするか？
- 日中行ける場所の確保は？
- 困ったときに相談できる人はいらっしゃるか？

個別支援での課題を協議会と繋げる

【チェックポイント】

- 地域移行支援の導入前のアプローチ（いわゆる、動機づけ支援）の過程の中で出てきた課題はどんなことがあったか？
（例：対応する機関が区市町村内で決まっていない等）
→ それは一機関の課題？街の地域課題？
- 地域移行支援導入後の支援の中で出てきた課題にはどんなことがあったか？
地域移行支援を受けた本人、入所、病棟、福祉、行政機関のチームの中で、「もう少しこうだったらな...」ということにはなかったか？
（例：体験宿泊の部屋がもっとあったらなあ、住まいの確保が難しかった等）
→ それは一機関の課題？その街の地域課題？
- 退院・退所後の生活支援で出てきた新たな地域課題があったか？
（例：精神障害にも対応してくれるヘルパー事業所が見つからなかった、等）
→ それは一機関の課題？その街の地域課題？
- これらの課題を公的な場で共有すること、協議することがこれまで自区市町村や、都道府県の仕組みの中であっただろうか？

なぜ「協議の場」は多職種・多機関で行うのか？

講師作成資料

【様々な視点から発信する地域づくり】

- 住民である当事者の方にとっての街の住み心地。街の強みと課題。
- 住民であるご家族にとっての街の住み心地。街の強みと課題。
- 生活支援をご本人の身近で行ってくれている相談支援や通所・入所事業所、在宅支援の方々、高齢分野の方々等々、日々の支援を通じて知っている街の強みと課題。
- 医療機関や入所施設からみた街の強みと課題。
- 行政機関からみた街の強みと課題。
- 他にも民生委員さんや不動産屋等々、様々な経験や知識を持っている方たちの力もフル活用する意識が必要です。

某区自立支援協議会地域移行部会での取り組み例 ～精神科病院からの地域移行を取り扱う部会～

- 区民が利用していて、地域移行支援等で関わりがある近隣市の精神科病院にも毎回開催通知を送って参加してもらう。
- 年に1回は地域移行支援を活用して退院した方に登壇してお話ししていただく。
- 年に1回は精神科病院で出張地域移行部会を開催する。

→病院見学ができる。看護師さんと意見交換ができる等々

これは精神科病院との連携でしたが、入所施設でも同じような連携はできるのでは？